

正徳館

だより



県立正徳館高等学校
長岡市与板町東与板 173
TEL0258-72-3121
令和6年7月26日発行

学校長より

『一学期を終えて』

校長 竹内 正宏

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に格別の御高配を賜り感謝申し上げます。まず、一学期の学校行事の実施状況について御報告いたします。

- 【四月】始業式・入学式（八日、新入生二十名）、対面式（九日）、壮行式（二十三日）、地域貢献活動（楽山苑・井伊神社清掃活動）、交通講話（二十六日）
- 【五月】生徒総会（七日）、中間考査（十三日）～十五日、オープンスクール・PTA総会・後援会総会（十八日）
- 【六月】避難訓練（四日）、スポーツフェスティバル（十四日）、期末考査（二十七日）～七月二日）

【七月】保健講話（九日）、終業式（二十六日）

部活動では、卓球部が五月に地区大会に出場。県大会への進出はなりませんでしたが。野球部は春の大会では六校合同チームで初戦を突破しました。夏の大会には五校合同チーム（正徳館・加茂農林・栃尾・分水・三条商業）で出場し、十日町総合・塩沢商工の合同チームと対戦、見事勝利を収めました。部活動に一生懸命に取り組んだ生徒は、普段の練習の成果を発揮しベストを尽くしてくれました。部活動をとおして学んだことをこれからの生活に生かしていただくことを願っています。

次に、昨年度の「スクールミッション」社会的な役割に続き、県教育委員会が各校の「スクールポリシー」教育活動の指針を発表しました。三つの柱のうち、本校の「教育課程の編成及び実施に関する方針」の骨子は以下のとおりです。

生徒活動報告

『正徳館高校に入学して』 一年生

私は正徳館高校に入学して良かったことが二つあります。一つ目は先輩たちがとても優しいことです。初めてのスポーツフェスティバルでは、ルールが分からなかった時にわかりやすく教えてくれて、他の軍に勝った時には褒めてくれました。おかげで緊張がほぐれて楽しく競技に臨むことができました。

- ① 個を伸ばす授業の展開
 - ② 生徒との対話の重視
 - ③ 体験学習等による主体的な進路選択
 - ④ 生徒の肯定的な自己評価につながる行事運営
 - ⑤ 地域と連携したキャリア教育
- 以上のポリシーに基づき、本校教職員は保護者の皆様や地域の方々によく連携しながら、日々の教育活動を進めてまいります。皆様には今後とも御協力を賜りますようお願い申し上げます。

二つ目は授業が分かりやすいことです。細かいところを分かるまで教えてくれるので、勉強するのが楽しくなっています。自分から積極的に勉強したいと思うようになりました。また、先生方がフレンドリーに話してくれるので、分からない所も聞きやすく本当にありがたいと思っています。わからない所は積極的に質問に行こうと思います。



1年学習習慣形成支援講話（4月）

『挑戦の一学期』 二年生

二年生になって新しいことに挑戦する機会が増え、さまざまな経験をしました。中でも印象に残っているのは生徒会の活動です。

私が初めて行った活動は、対面式での一年生の整列でした。当日急な変更がありましたが、多くの人のサポートのおかげで無事に終えることができました。

また、先日行ったスポーツフェスティバルでは一か月前から準備に取り掛かりました。常に私には何ができるかを考えて準備を進めました。しかし、当日担当していたセリフのタイミングを私が間違えてしまい、全校の皆さんを少し困らせてしまうことがありました。でも、生徒会役員のみんなや先生に支えていただき、無事成功させることができました。

まだまだ足りないところがありますが、これからも成長できるように頑張っていこうと思います。



対面式・生徒会役員紹介（4月）

『スポーツフェスティバルを振り返って』

三年生

団長になって難しいと思っ
たことは、軍の全員を引っ張
っていくことです。

初めは何の目標もなく、
只々怪我をしないで楽しくや
ればいだろうと思っていま
した。しかし、短期間の練習
の中で何をしたいのかが徐々
にはつきりしてきました。私
は怪我をしてほしくないこと
と、ルールを分かったうえで
楽しくやることを自分の目標
とし、練習に取り組みました。
印象に残っているのは綱
引きで全勝したこと。練習
の時は一勝一敗や二敗だっ
たので、諦めかけていました
が、三年生のある人が出した
案が勝利に導いてくれました。
みんなも頑張ってくれたこと
が深く印象に残っています。



スポーツフェスティバル(6月)

競技中に周りを見ると、笑
顔や元気な声かけをする姿が
溢れていました。とても満足
できるスポーツフェスティバ
ルでした。



『バドミントン部の活動を振り返って』

三年生

大会に出る機会はありませんが、毎日練習に取り組み、体力や技術の向上に努めました。

三年間部長を務めて大事だ
と思ったことが二つあります。
一つ目はメリハリをつける
ことです。にぎやかに活動す
るのも大事ですが、練習中は
一生懸命取り組むことが大切
だと思いました。

二つ目は部長としての自覚
を持つことです。一年生の時
は先輩の言うことを聞いてい
ればよいと思つてのんびりや
っていました。しかし、部長
になると、出欠表を書いたり、
練習メニューを考えたりしな
ければならず、大変でした。
それでも部員を引っ張る存在
なので責任感を持って頑張り
ました。

一、二年生には部長に任せ
っぱなしにせず、自ら動ける
ようにこれからも頑張つて活
動してほしいと思います。

新任の先生紹介

先生方への質問項目

- ①前任校
- ②担当教科
- ③担当部活動
- ④趣味
- ⑤思い出に残っていること
- ⑥生徒に一言

教頭

- ①分水高校
- ②数学
- ③ドライブ、鉄道の旅、写真
- ④平成十六年度に七月新潟・福島豪雨、十一月中越地震、一月豪雪とあらゆる災害が起こった。一月の豪雪では当時勤めていた長岡工業高校で生徒二人が帰宅できず、セミナーハウスに泊まった。
- ⑤時間の長さは相対的なもので、心理的に感じる時間や物理的に感じる時間でも長さに違いが出る。例えば嫌なことをしている一分は長く感じ、楽しいことをしている一分は短く感じる。でも時間の長さは本来誰でも同じだけ与えられているもの。ならば、君たちは楽しいこと辛いことなど様々な経験をし、短くも長くも感じる今の高校生活で時間を上手に使うてほしいと思う。

余談ですが、「辛い」に「一」を加えると「幸」になります。辛いことがあったら一つ何かを加えてみよう。

英語科教諭

- ①新津南高校
- ②英語
- ③華道部
- ④庭の草花の世話、音楽鑑賞
- ⑤映画視聴
- ⑥大学三年の時、ロンドンの地下鉄で超焦った思い出。地下鉄で改札を出ようとして切符を入れたら、その切符が出てこない！慌てて駅員さんに説明しようとして出てきた英語が「マイ、チケットゥ、デイドウン、カム、アウトゥ！」

伝わったのかどうかは定かではありませんが、バーを開けて通してくれました。

⑥自分の好きなこと、得意なこと、興味があること、何か一つあればそれをキーワードにしてこれから先、進んで行けます。私にとって「英語」という言葉でした。皆さんもその「何か」を見つけて大事に育てていきましよう。皆さんが将来どんな花を咲かせて、どんな実をつけるのか楽しみですよ！

地歴公民科教諭

- ①長岡大手高校
- ②地理歴史・公民
- ③バドミントン部
- ④一人旅、スポーツ観戦
- ⑤一番緊張したこと

高校最初の中間考査。現代文の試験で、どんな問題が出題されるか全く分からなかった。問題用紙が配られるまでドキドキが止まらなかった。

・一番大変だったこと
中越地震。発生当日は余震が心配で、当時住んでいたアパート近くの駐車場で車中泊をした。勤務していた学校も一週間以上休校になり、バタバタだった。

⑥高校の三年間は人生の中ではあつという間の通過点です。何もしなくても時間は過ぎていきますが、せっかく通過するならば、何かに取り組んでほしいと思います。将来、皆さんが出逢うであろう人たちに「高校時代は〇〇をした」と、自分のことを語れる人になってください。

